

## 7 価肺炎球菌、子宮頸がんワクチン公費助成を求める意見書

我が国では、予防接種法並びに結核予防法に基づいて公費で接種できるワクチンとして、麻疹、風疹、百日咳、破傷風、ジフテリア、結核、日本脳炎、ポリオがある。しかし、諸外国では肺炎球菌、インフルエンザ菌をはじめ多くのワクチンが公費助成されている。

これらワクチンで防げる病気に罹患し、闘病生活を強いられたり、重度の後遺症に苦しんだり、亡くなってしまう子どももいる。

今年度から兵庫県がインフルエンザB型菌（ヒブワクチン）の助成をはじめることにより、南あわじ市でも今年度から助成がはじまる。

しかし、7 価肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンの助成はおこなわれていない。肺炎球菌は、子どもの髄膜炎、肺炎などの重度の疾患の起原菌で、子宮頸がんワクチンは、文字通りワクチン接種により子宮頸がんの発生を90%以上抑制すると言われている。少子化対策の一環として、また医療費高騰の抑制策にもなることで、費用対効果は十分証明されている。

よって、国においては下記の事項について速やかに制度を定めるとともに、必要な財源措置を行うよう求める。

1. 2歳未満の乳幼児に対する7 価肺炎球菌ワクチンの公費助成をおこなうこと
2. 10歳から15歳までの女兒に対する子宮頸がんワクチンの公費助成を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月28日

兵庫県南あわじ市議会議長 川 上 命

## 意見書提出先

◎衆議院議長 横路孝弘  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-7-1

◎参議院議長 江田五月  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-7-1

◎内閣総理大臣 菅直人  
〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

◎財務大臣 野田佳彦  
〒100-8940 東京都千代田区霞ヶ関3-1-1

◎厚生労働大臣 長妻昭  
〒100-8916 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2  
中央合同庁舎5号館本館

◎兵庫県知事 井戸敏三  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号